

令和5年度市民討議会提言内容の進捗状況一覧表 (令和5年度末現在)

討議テーマ 1		子どもに多治見を好きになってもらうには？夢を持ってもらうには？	
提言		進捗状況	関係部署
子どもが多治見を好きになれるように、多治見出身で活躍している大人と交流できる機会や多治見の名物を知ることができる環境作りを望みます。		・多治見への愛着を醸成するために、郷土の豊かな歴史や文化を体感できる土曜学習講座「わがまち 多治見大好き講座」を年間10回開催しています。 ・地域の文化財を学校で展示し、実物を見たり体験したりすることや、地域の歴史をテーマとした講師による授業を開催することで、多治見の歴史や伝統文化の学びにつなげています。	教育推進課
		・子どもたちがやりたいこと、夢を抱けることを見つけるために体験・発見・知る機会を創出するため、多くの企業等の協力を得て、たじみこどもフェスタを3月20日に開催する予定です。 ・市内全小学校区に設置してある児童館では、地域のお祭りへ子どもたちが参加する企画や、特色ある地域の方が講師となる催事など、地域行事と連携しています。	子ども支援課
討議テーマ 2		子どもが夢をかなえるためには何が必要か？	
提言		進捗状況	関係部署
低学年の頃から職業体験の場を増やし、子どもだけではなく大人も共に知る事で話し合いや応援ができる環境を望みます。		・発達段階に応じた望ましい勤労観や職業観を養うために、様々な分野で活躍する人や地域で仕事をしている方々との交流、職場での体験学習などを実施しています。	教育推進課
		・たじみこどもフェスタ(3月20日開催予定)では多くの企業の協力を得て、職業体験等を行うブースも設置する予定です。実際に働いている方ともスタンプラリー等を通じて交流できる場を設け、夢を持っていたけような機会になるよう計画をしています。	子ども支援課
討議テーマ 3		いろいろな問題を抱える今の子ども達。私達おとなは、何をしたらよいのか？	
提言		進捗状況	関係部署
第三者として、地域の見守りや問題を発見するために、問題を抱える子どもはもちろん、子どもの今の環境の状況を知る機会や、どう対応したらよいか学べる機会を望みます。		・地域住民で構成する青少年まちづくり市民会議は、「花いっぱい運動」や「もちつき大会」等、子どもも大人も参加できる様々な催しを行っています。この催しに当日参加することや、さらに企画の段階から参加することによって、子どもと交流し、子どもを知る機会となっています。	教育推進課
		・オレンジリボン啓発(11月)や、絆ネットアプリを通じて、ヤングケアラーや虐待対応等、相談できる環境について積極的に情報発信を行っています。 ・令和6年4月に児童発達支援センター「わかば」を開設し、気軽に子どもの発達について相談できる機会を設置する計画です。	子ども支援課
討議テーマ 4		子どもの夢を応援する方法はありますか？私達は、子どもと一緒に何を考えたらよいですか？	
提言		進捗状況	関係部署
夢や生き方を語り合える場を望みます。		・多治見市青少年まちづくり市民会議では、校区大会で選ばれた小学校13名、中学校13名が具体的な経験を通して、考えたことや悩んだこと、将来の夢などについて発表する「わたしの主張大会」を開催しています。	教育推進課
		・地域が主体となり、子ども食堂等、子どもの居場所づくりに取り組む団体を支援する制度を設けています。 ・市民の子育て応援に係る取り組みをHPやきずなネット等で積極的に周知しています。	子ども支援課
		・市民が主体的に行う地域活動を支援する補助金を活用して、地域で行う大人と子どもの交流イベントなどを支援しています。	くらし人権課